

# 大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：石塚委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 防災部会（第3回）				
(2) 開催日時	平成28年7月20日（水）10：00～12：00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員（部会長：栗田 修平）				＜敬称略＞
	志村 陽子	竹内 奈津子	竹内 千代江	加藤 治	柚木 秀彦
	石塚 由江				
	オブザーバー：二村 太郎（蒲田警察署）、長島 修（矢口消防署）、 鈴木 浩二（蒲田消防署）、市川 邦彦（久が原福祉園 施設長）				
	区職員：阿部 幸喜（防災危機管理課）、鎌田 裕一（上池台障害者福祉会館長） 斉藤 禄美・小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター） 吉田 実（障害福祉課）				
	事務局：酒井 敏彦（障害福祉課長）、井村 陽介・中條 美由紀（障害福祉課）				

- 1 出欠者の確認
- 2 配付資料の確認
- 3 書記の確認 → 石塚委員：交替制
- 4 連絡・報告事項
  - ※事務局からのお願い
    - ・発言の際はマイクを通し、最初に所属と名前を述べてからご発言いただきたい。
- (1) 運営会議（7/29）、全体討議会（8/19）について
  - 運営会議は、全体討議会の準備会という位置づけ。アンケートをもとに全体討議会の議題を決めていく。
- (2) 「情報発信！共有！シート！」について
  - 団体、個人での取り組みを紹介し合い、情報共有・連携していくツール。
    - ・オブザーバーとして参加いただいている消防署、警察署からの情報提供もお願いしたい。
    - ・順番に、部会の中で発表していただく機会を設けていきたい。
- 5 議題
  - (1) 防災訓練の参加・協力、地域・関係機関との連携方法の検討
    - 自立支援協議会として今年度も総合防災訓練に参加していきたい。総合防災訓練は、9/25、10/2の2回の開催。
      - ①大森東地区総合防災訓練
 

日時：9月25日（日）8時20分～12時00分 会場：多目的広場 森ヶ崎交通公園等
      - ②六郷地区総合防災訓練
 

日時：10月2日（日）9時00分～12時00分 会場：西六郷小学校等
 ⇒①・②ともに自立支援協議会防災部会の展示ブースを設置予定。
    - 障がいのある方の参加について
      - ・自治会、町会の「要援護者」に対する感覚はどのようなものか。
 

→いろいろな方がいらっしゃることは承知している。参加があれば周知していきたい。
      - ・大森東地区、六郷地区にお住まいの障がいのある方に、障がい者団体、親の会から負担の無い範囲で参加を呼び掛けてみてはどうか。
      - ・回覧板のお知らせの中に「障がいのある方で、当日のお手伝いが必要な方はご一報ください。」

というような一文があるとよい。

➤ 自立支援協議会のブースについて

- ・手話通訳者を配置することはできないか。  
→手話通訳の方に総合防災訓練の情報を知らせていただき、主体的な参加もあるとよい。
- ・ヘルプカードの周知や啓発の他に、障がい者団体、親の会のことも一緒に周知できるとよい。  
⇒ブース内のことについては、作業部会で整理し、次回の部会で提示する。

(2) ヘルプカードの普及・啓発方法の検討

- ヘルプマークを活用したグッズとして、「ステッカー（家の前・スマホ用）」「缶バッジ」「リストバンド」「クリアファイル」の4案が出ている。一番多く作れるのは、クリアファイル。次いで、ステッカー、缶バッジ、リストバンドの順となる。
- ・数多く作れて、広く配れるものがよい。
  - ・支援者が身に付けるものではなく、ヘルプマーク自体の周知を図っていく必要を感じている。
  - ・クリアファイルが多くの人に配布しやすい。
  - ・大田区が区制70周年になるので、大田区のマーク等も入れたらもっと数が作れるのでは。  
→70周年のマークは使用可能と思われるが、使用することでの区からの助成金はない。
  - ・区立の小中学校の児童生徒への全員配付というのはいかがか。もしくは対象の学年を絞る等。  
→予算上難しいと思われるが、検討していきたい。
- ⇒ヘルプマークを活用したクリアファイルを作っていく方向性に決定。詳細は、作業部会で検討する。

(3) 全体討議会で取り上げたいテーマについて

- アンケート結果にある「ヘルプカードについては、配置された警察官に教養している・・・」とあるが、「教養」とはどういう意味か。  
→ヘルプカードについては、警察学校を卒業して新しく配置される警察官に教えている。そういう意味で「教養」と記載した。
- ・障がい者団体は、障がい理解のための研修をできるノウハウがあるので、ぜひ利用して欲しい。
  - ・区職員に対しては、ヘルプカードをどのように周知しているのか。  
→庁内電子掲示板、小中学校等のポスター掲示、デジタルサイネージによる発信等で周知を図っている。

(4) その他

- さぼーとびあは、今後どのような福祉避難所としての取り組みを考えているのか。  
→消防計画で避難訓練・防災訓練を行うことが決められているが、福祉避難所としての実践的な訓練も委員等の意見を聞いて一緒に取り組んでいきたい。時期については、後日お伝えしたい。

6 委員及び関係機関からの情報提供

- これからの時期、集中豪雨等に対応できるよう、排水溝を（ふさぐ落ち葉やごみがないよう）確認してほしい。

※次回日程

日時：平成28年8月17日（水） 午前10時00分～12時00分

会場：障がい者総合サポートセンター 5階多目的室